



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和5年8月28日 第5号
小笠原村立小笠原中学校
校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



「忘れない」「伝える」「もっと知る」

第2学年主任 矢代 祥大

表題の言葉は、7月1日に行われた硫黄島洋上慰霊祭での「誓いの言葉」の一節です。今年
は小笠原中学校を代表して綿引海斗さんと森本千諒さんが「誓いの言葉」を述べました。これ
までの平和学習で感じた思いを乗せて、次のように締めくくりました。

自分の命も捨てて日本の領土や家族を守るために一生懸命戦い抜いた兵士たちの思いを忘れ
てはいけないこと。戦争で食料が不足して奪い合いが起き、人が追い詰められてしまうほど戦
争は残酷であり、その残酷さをこれからの世代、今生きている人たちに伝えていくこと。これ
まで戦争について学んできたけれど、それは戦争のほんの一部でまだまだ知らないことが多く
学んでいかなければいけないということです。私たちは、この小笠原で戦争について学べるこ
とに感謝し、戦争のことを「忘れない」「伝える」「もっと知る」ことで戦争をもう二度と起
こさないことを誓います。

振り返ってみると、平和学習では様々な人の「思い」に触れてきました。戦争の中で命を落
とした人々の思い、いまだに硫黄島の地で眠る人々の思い、厳しい環境下で戦い抜いた人々の
思い、中学生に戦争のことを伝えてくれようとお話をしてくださった人々の思い、旧島民の今
もなお硫黄島にはせる思い。2年生たちは、学習の中で「知る」だけでなく、そうした思いを
しっかりと受け止めてきました。慰霊祭には、全員がきちんとした態度で臨み、献花や「故郷
の廃家」の献歌も立派に務めました。2年生たちなりの「思い」を示せたのではないでしょ
うか。

また南硫黄島、硫黄島、北硫黄島を船上から見ることができ、ガイドに耳を傾けつつ熱心に
スケッチやメモを取る姿が見られました。なかなか見ることのできない島々から、積極的に学
ぼうという意欲が感じられました。事前の学習でも、島の自然や生物について調べていました
が、実際に目にした島々は青々と木々が生い茂り、堂々とそびえ立つ姿に圧倒されました。

生徒たちにとって貴重な体験をすることができ、慰霊祭も含めてとても有意義な行事でし
た。



遠泳大会

保健体育科 柴山 暁人

7月9日(日)に遠泳大会が実施されました。【1時間かけて1kmを全員で泳ぎ切る】ことを掲げて、海練習から頑張っている生徒の姿がありました。また、今年度はプールの改修工事に伴い、前浜や青灯台にて水泳の授業を行いました。そこでは、3つのグループに分かれて、それぞれの練習を実行委員の生徒が教員と考え、グループで目標を共有し、振り返ることを毎時間取り組んでいきました。隊列泳の練習においては、波の影響もありながらも、パディを意識し声を掛け合い、励ましながら隊列を崩さずに泳ぐことができ、隊列の綺麗さも際だったものがありました。

遠泳大会当日では、少ない練習回数にも関わらず、自分の持ちうる力を発揮することと仲間を励まし合うことがとてもできていたと感じます。イルカ(泳力が一番高い)グループでは、隊列の真ん中を泳ぎ【中心】となって、ペースを守りパディを励まし合うことができていました。泳ぎが苦手な生徒もいますが、ビート板を使ったりレスキューチューブに捕まりながらも、1000mを泳ぐんだといった意欲を感じることができ、とても素敵な時間となりました。

今回の遠泳大会に向けて、実行委員は2ヶ月前から準備に取りかかり、学校全体の雰囲気作りに一役買ってくれました。泳いだ生徒はもちろん、見学の生徒も一生懸命に泳いでいる仲間を掛け声や拍手などで温かく見守ってくれていました。苦手なことに対して、きちんと練習することで自信を付け乗り越えられるといった達成感につながったのではないのでしょうか。自分の頑張りを賞状から感じてくれると嬉しい限りです。

最後になりましたが、ご多用の中、今年度の遠泳大会にご協力いただきました皆様のお陰で生徒は泳ぎ切ることができ、達成感を味わうことができました。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



スマホ・ケータイ安全教室

生活指導部 松井 勇祐

7月11日(火)にオンラインによるスマホ・ケータイ安全教室を行いました。NTTドコモの清水さんにスマホ・ケータイの上手な活用の仕方について講義をして頂きました。講義では、スマホ・ケータイを使う上でのリスクについて、ワークシートを使って考え、グループで意見交換をしました。人によって、被害の大きさや起こりやすさが違うことを知り、自分に合った対処方法など学びました。スマホは便利な一方、リスクや危険性もあること忘れず上手に活用してほしいと思います。



セーフティ教室

生活指導部 渡邊 健士朗

7月14日(金)に小笠原警察署から2名の署員の方に御来校いただき、セーフティ教室を行いました。講師の横山様の体験なども交えつつ、丁寧にお話ししていただき、飲酒や喫煙、薬物の危険性などについて学ぶことができました。また、近年、10代が特殊詐欺などで犯罪加害者になることも多くあり、注意が必要であることもお話しいただきました。

夏休みなどの長期休業中は、内地に行く機会も増えます。危険は自分のすぐ身近にあるという意識を忘れないことが大切です



部活動遠征報告

バレーボール部

7月15日(土)にバレーボールの島嶼大会が港区の港南中学校で行われました。結果は、対神津中学校 第一セット23-25 第二セット21-25。対大島連合 第一セット9-25 第二セット18-25と2連敗してしまい、予選リーグを突破することができませんでした。残念ながら勝利することができませんでしたが、一進一退の白熱したゲームでした。島嶼大会も含め、内地に到着してから、初めて見る学校との練習試合を重ねるたびに技術的にも、精神的にも成長できました。内容の濃い遠征となりました。地域の方、卒業生、その他の関係者様のご協力があり、遠征を無事に終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

顧問 宮本 寛信・高部 みなみ



バドミントン部

7月27日(木)にバドミントンの都大会が葛飾区の奥戸総合スポーツセンターで行われました。新井・富田ペアは淑徳業鴨中と、菊池・根本ペアは佃中と対戦し、どちらも0-2のストレートで負けてしまい、勝ち進むことはできませんでした。しかし、大会も含め、内地に到着してからの試合では、格上を相手に、緊張する場面でも自分たちがやろうとしていたことを意識してプレーし、表現することができ、自分たちの成長につなげることができました。保護者の皆様や地域の方々、その他の関係者様の御協力があり、遠征を無事に終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

顧問 多久 優麗花・渡邊 健士朗



サッカー部

サッカー部は、7月22日(土)に駒沢補助球技場にて、島嶼大会に出場しました。初戦の大島代表との試合では、後半残り10分まで優位に試合を進めていましたが、試合終了直前に同点に追いつかれてしまい、PK戦となりました。PK戦には自分たちで蹴る選手を決めて臨み、相手の6人目のキックを白倉さんが止めたことで勝利し、決勝に進出することができました。続く決勝戦の八丈代表との試合では、前半0-0で折り返しました。後半には相手の脚がつるなどありましたが、小笠原・母島中学校は日頃の練習の成果を発揮し続けていました。しかし、結果は0-2で負けてしまいました。目標である「島嶼大会優勝、都大会出場」は叶いませんでしたが、保護者を含めた多くの関係者の方々からの熱い応援を力に変えて試合に臨み、各個人がこの大会を通じて一回り以上の成長をしてくれたと感じます。ありがとうございました。

顧問 柴山 暁人・湯本 達也



硬式テニス部

夏休みの終わりにダブルスで2ペアとシングルスで4選手が新人戦ブロック大会に出場しました。多くの選手が接戦の末の初戦敗退となりましたが、ダブルスの1ペアが勝ち上がる大健闘をしてくれました。4月になり新体制でスタートしたテニス部ですが、5か月間の練習の成果を発揮できた、応援していてもうれしくなるような試合でした。また、選手たちも自分たちの成長を感じ、次のレベルに向けた課題を見つけることができた、実り多き遠征となりました。この遠征ができたのも、1学期末まで2年生を引っ張ってきた3年生の存在、日頃から支えてくださっている保護者の方々、村民の方々のおかげだと思います。実際、遠征前には、奥村グラウンド受付やおが丸受付、生協などで「今度遠征ですね。テニス部頑張ってください!」と声をかけてくださる方もいらっしゃいました。恵まれた環境でテニスができていることに感謝しつつ、テニス部はこれからも練習を続けていきます。ぜひ、今後も応援よろしくお願い致します。

顧問 藤勝 大介・苅谷 致・武田 悠



「結」 ～南アルプス市交流事業～

引率担当 矢代 祥大

7月24日から3泊4日の日程で、山梨県南アルプス市との交流事業が行われ、小笠原村を代表して小笠原中学校から15名、母島中学校から4名の計19名の生徒が参加しました。南アルプス市の方々も、4年ぶりにやってくる小笠原村の中学生たちを、とても暖かい気持ちで迎えてくださり、とても有意義な経験をする事ができました。4日間の主な行程は次の通りです。

| | |
|-----|--|
| 1日目 | 歓迎会 |
| 2日目 | “小笠原”のつながりについての講義、火おこし体験、BBQ(甲府牛)、カヌー体験、バードコール作り |
| 3日目 | 夜叉神峠ハイキング、甲斐犬との交流、桃狩り |
| 4日目 | 離市式 |

特に印象に残っているのは、火おこしと桃の食べ放題です。火おこしはどの班も苦戦していましたが、地元の中学生と協力して、最終的には何度も火をおこせるようになりました。自分たちでおこした火で食べるBBQの味はひとしおだったのではないのでしょうか？桃はとても甘くてみずみずしくて美味しかったので、2個、3個とペロリと完食。皮をむくときの、真剣なまなざしは忘れられません。

今回の行事を一言で表すのであれば「結」という言葉が最適だと思います。コロナで途切れていた交流を再び結び直しました。生徒たちは、南アルプス市代表の生徒たちと交流を深め、新たな結びつきを育むことができました。小笠原諸島のことをアピールし、「来年、小笠原に行きたい」と南アルプス市の中学生たちの心に小笠原村の魅力を結びつけることができました（南アルプス市のスタッフの中には、小笠原村の話に魅かれ、すでに宿とおが丸のチケットを取った人も…）。

今回の事業が成功したのも、ひとえに南アルプス市の方々の熱意ある歓迎のおかげですが、小笠原村の中学生たちが、様々な体験を素直に楽しみ、とても嬉しそうに過ごしたことも大きかったと思っています。はじめて会う人にもすぐにうち解け、南アルプスの食・文化・自然を満喫する姿がとても素晴らしかったです。



🏠🐰🍌🏠🐰🍌🏠🐰🍌🏠🐰🍌🏠🐰🍌🏠 9月の行事予定

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|-----------------|-------------------------------|---------------|---|-----------------------------|------|
| | | | | 1 避難訓練 海洋センターボランティア ア(5時間授業) | 2 Ⓜ | 3 |
| 4 生徒会朝礼 | 5 ㊦ 食育講話 | 6 芝生の日 掃除なし 部活動中止(~13日) | 7 | 8 | 9 Ⓜ | 10 |
| 11 学校朝礼 | 12 ㊦ | 13 2学期中間考査 | 14 | 15 Ⓜ | 16 | 17 |
| 18 ㊦ 敬老の日  | 19 | 20 芝生の日 掃除なし | 21 Ⓜ | 22 お弁当の日 テスト反省 | 23 土曜授業日 秋分の日 生徒会役員選挙 | 24 ㊦ |
| 25 学校朝礼 後期学級組織決め 運動会合同練習 (5,6校時) | 26 役員会・各種委員会 | 27 Ⓜ 振替休業日 | 28 連合運動会予行 | 29 中央委員会  | 30 ㊦ 土曜授業日 運動会準備 | |